

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-503265 (P2005-503265A)
【公表日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報 2005-005
【出願番号】特願 2003-530454 (P2003-530454)
【国際特許分類】

B 2 3 K 20/10 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 20/10

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 29 日 (2005.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持構造体と、

第 1 の取付け面を有し、前記支持構造体に取り付けられる超音波ホーンと、

前記超音波ホーンから離隔され、第 1 の受け面を有するアンビルと、

前記第 1 の取付け面を前記第 1 の受け面に支持可能に連結する第 1 の受けアセンブリであって、前記超音波ホーンと前記アンビルとの一方に対して他方が回転する間に、該超音波ホーンと該アンビルとの間に最小固定間隙を調節可能に形成する第 1 の受けアセンブリと、

を具備することを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記第 1 の受けアセンブリが、

前記第 1 の取付け面に取着される分離装置と、

前記分離装置に対して同軸に配置される環状ホーン軸受と、

前記第 1 の取付け面および前記第 1 の受け面のうちの一方の近くに配置される従動面を有し、該従動面が該第 1 の取付け面および該第 1 の受け面のうちの一方と係合可能であるカム従動子軸受と、

前記環状ホーン軸受と前記カム従動子軸受とを支持可能に連結する偏心シャフトと、
をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

回転型超音波溶接ホーンの取付け方法であって、

溶接面および第 1 の取付け面を有する前記超音波ホーンを支持構造体に取り着することと、

プレス面および第 1 の受け面を有するアンビルの、該プレス面が前記溶接面に隣接するように配置することと、

前記溶接面および前記プレス面を互いの方向へ付勢することと、

連結構造体により前記第 1 の受け面を前記第 1 の取付け面に連結し、前記プレス面と前記溶接面とが接触しないようにして、予め定めた離隔距離を形成することと、
を含む回転型超音波溶接ホーンの取付け方法。